

# ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

現在開催中の松藤さんの展覧会が7月6日(月)で終わり、7月8日(水)からはガラス美術館の収蔵作品展を開催します。収蔵作品展はウランガラスの魅力を知りやすく楽しんでもらおうと毎年企画してきた展覧会で、以前は秋～冬期に開催していたのですが今年は会期を7～10月、12～3月の2期に分け、10～12月は別の展覧会を開催します。

この展覧会の見どころは展示作品がすべてウランガラス作品で、壁面展示ケース内の作品に強い紫外線(ブラックライト)を当て、光った状態で展示するところです。紫外線を受けて光るウランガラス作品はシンプルに「綺麗」です。かたちによって光り方が変わるので、様々な作品を見比べる「面白さ」もあります。作品から作家の意図を想像することも楽しいのですが、「光るガラスのかたち=ひかりのかたち」を純粋に楽しめる点がこの収蔵作品展の魅力だと私は考えています。

前半会期：7月8日(水)～10月5日(月)  
 後半会期：12月23日(水)～令和3年3月22日(月)



以前開催した収蔵作品展の展示会場



紫外線で光らせて展示している。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

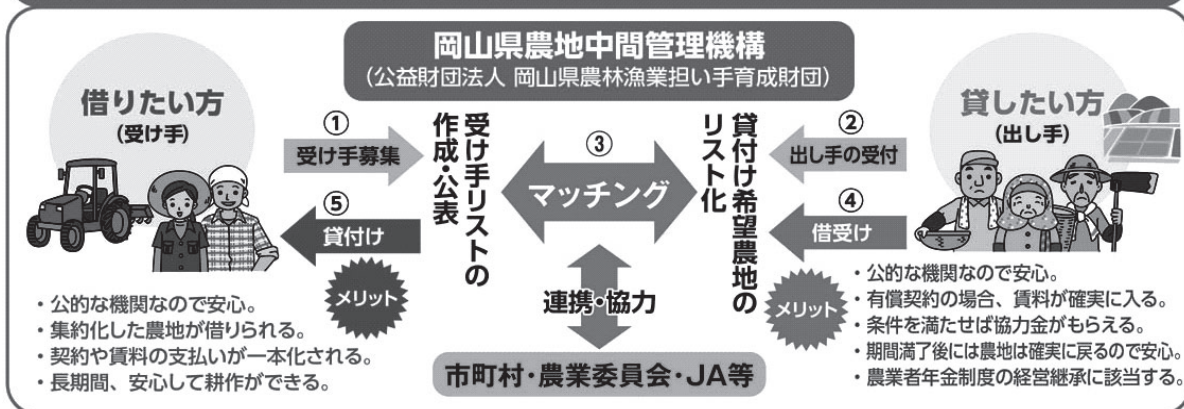
## 農地中間管理事業を活用しませんか！

農地中間管理事業は、農業をやめる方や経営規模を縮小する方などの農地を農地中間管理機構が借り受け、それを集積して意欲ある担い手の方にお貸しする

ことにより、農地の有効利用と農業経営の効率化を実現するものです。

岡山県では、公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団が県知事から農地中間管理機構の指定を受けています。同機構は公的機関ですので、利用される方は安心して農地の貸し借りを行うことができます。

### 農地中間管理事業のしくみ



※農地の貸付申込みをして機構が借り入れるまでの間は、貸付希望者が自ら当該農地を管理していただけます。  
 ※農業委員会が再生不能と判断した遊休農地など、利用することが著しく困難な農地は借り入れできません。

詳しくは、岡山県農林漁業担い手育成財団ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 鏡野町産業観光課 担当：佐古 電話(0868)54-2987  
 岡山県農地中間管理機構 美作支部 電話(0868)23-1325